



「社会福祉士とは」を原点に立ち返って考える

広島県 社会福祉士基礎研修 開催中!



2012年4月から日本社会福祉士会の定めた生涯研修制度が一新され、基礎研修のカリキュラムが大幅に変更になりました。社会福祉士の資格取得はゴールではなく、社会福祉士としてのスタートラインに立ったということです。常に「社会福祉士として自らの資質と専門的な技能を高めるため」に研鑽に努めていく必要がありますが、実際には職域の学習のみを行っているという方が多いのではないのでしょうか。基礎研修のねらいは、働く分野に関わりなく社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけることです。

広島県社会福祉士会でも2012年から新生涯研修制度に則り、基礎研修を開催しています。プログラムは全国の社会福祉士会で統一されていて、教材、講義、演習、グループ討議の内容もすべて同じで、認定社会福祉士の認証研修にもなっています。

受講1年目には基礎研修Ⅰ 2年目に基礎研修Ⅱ 3年目に基礎研修Ⅲと3年間で修了となります。もちろん続けて3年ではなく、自分自身の研修計画にそって間をあけて受講されてもかまいません。

今年度の基礎研修Ⅰは60名、基礎研修Ⅱは25名の方が受講されています。基礎研修Ⅰは社会福祉士の倫理綱領と専門性の理解を中心に2回の集合研修と自宅学習としてレポートの課題があります。基礎研修Ⅱは主に社会福祉士の共通基盤についての理解を深め具体的に実践に結びつけるプログラムになっています。こちらは11回の集合研修とレポートです。集合研修では毎回、講義とグループ討議があります。他県のほとんどはDVDを視聴することで講義に代えているのですが、2013年度広島県はすべての講義を講師が行っています。様々な職域の社会福祉士が一緒に行うこのグループ討議は、日ごろお付き合いのない分野の人と意見交換をすることができ、「社会福祉士とは」を原点に立ち返って考えるよい機会になっています。

課題やグループ討議がきっかけで先輩社会福祉士や同期の社会福祉士と顔の見える関係ができ、まさにネットワークの広がりを実感できるはずです。



広島県社会福祉士会業務執行理事
研修部会 部長 三原千春

会員紹介ルー

中南支部 荒井優子 荒井優子社会福祉士事務所

現在、私は呉市で独立型社会福祉士として活動しています。広島県社会福祉士会では、独立型社会福祉士委員会、ぱあとなあひろしまの運営委員をしています。独立型事務所としての業務は、成年後見人等の受任、福祉施設での相談員（契約）、オンブズマン活動など相談援助を中心に業務を行っています。

そんなさまざまな業務を通じて感じていることが「社会福祉士として」という視点です。「私は社会福祉士として何ができるのか」、「社会福祉士として今この場にいる意味は？」と常に問い続けながら仕事をしています。みなさんは日々の業務の中でそんな風を感じることはありませんか？

今回、独立型社会福祉士委員会では社会福祉士としての信念や大切にしていることなどの「社会福祉士魂」を語り合うべく来年1月18日（土）に「燃やそう！社会福祉士魂！！～聴こう、語ろう、つながろう～」をテーマに実践報告会を企画しています。関心のある方ぜひ一緒に語り合いましょ。私の夢は「ちょっと社会福祉士さん」と気軽に相談してもらえるような存在になること。地域の人にしっかり頼ってもらえるような存在になりたいと思います。そのために今の仕事を一つひとつしっかりと果たしていけるよう研鑽の日々です。

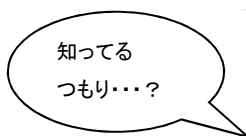


知ってるつもり…？

知ってはいるけど説明するとなると…
社会福祉士が押さえておきたい豆知識をご紹介します

岡村重夫

明治 39 年 10 月 21 日 大阪府大阪市生まれ
東京帝国大学（現・東京大学）文学部倫理学科卒業。
昭和 25 年に大阪市立大教授となり、社会福祉学科を創設。
のち関西学院大学などの教授を経て大阪府立社会事業短期大学学長に就任。
その後、日本地域福祉学会を設立し会長に就任する。
社会福祉を制度ではなく生活者の立場でみる理論を展開した。
平成 13 年 12 月 22 日死去。95 歳。



この方の名前も知らないという会員はまずいないでしょう。
す…すごい！！ と感じられる一文をご紹介します（筆者による個人的見解ですが…）。

「生活者としての個人は、その生活の場において多数の社会関係に支えられながら生活を維持することができるのであるが、その生活の場を我々は地域社会と考えるならば、地域社会における社会関係のなかに生活困難の原因をみいだすと同時に、生活問題の解決を、その地域社会の社会関係の改善によるものでなくてはならない。保護事業は、問題の当事者を生活困難発生の場所からひき離すことによって、問題の解決を図ろうとして、結局は問題の再発を防ぐことができなかつた。生活者と家族、近隣社会、そして各種の生活関連の施策や施設との諸関係の総体が地域社会の社会関係であるが、地域社会が真実の生活の場としてふさわしいものであるためには、この地域社会の総体はいかにあらねばならないか。このような多数の地域社会関係がよく調和し、地域住民の生活要求に対応するような地域福祉の運営に向けられねばならない」。

今から 32 年前の文献からの抜粋です。現代における地域福祉のあり方を考える上でも、とても重要な指針となる一文ですね。

注・引用 (1) フリー百科事典「ウィキペディア」(2) Kotobank.jp

(3) 岡村重夫「都市問題研究」第 33 巻 第 7 号 都市問題研究会 1981 年 63 頁

中南支部研修報告

「障害者が地域で暮らすということ」 中南支部 中川 咲子

中南支部会員となり、早5年目を迎えます。東広島市社会福祉協議会の中川咲子です。中南支部研修として、9月8日(日)「障害者が地域で暮らすということ」と題し、特定非営利法人地域ネットくれんど 理事 小河 努 氏による講演会が開催されました。地域社会で障害がある方が暮らすことの本音の語りや施設がどんな思いを持って地域と関わっているか、また人が生きるとは何を意味するのか、各自に問いかけられ、考える機会をいただいた貴重な研修となりました。研修終了後のランチ交流会では、社会福祉士会への熱い思いを、参加者の皆さんと語り合い、楽しいひとときを過ごしました。



事務局から愛をこめて

♡涼しいまなざしの立野さん♡



事務局の一員として勤務しております立野正太(たつのしょうた)です。少ない人員でいろいろな業務を行っていますが、私が担当している主な業務は、①年間を通しておこなわれる多くの各種研修の管理業務、②県社会福祉士会の会員管理、③ホームページの更新、④県民会議の一部業務等、④その他事務局運営に関する庶務業務などです。

私はスポーツ観戦が好きなのですが、この度、広島東洋カープが16年振りにAクラスに入りました。感激＼(〜o〜)／そして長かったあ〜……これを機に広島街も活気づけばいいですね。

会員の皆様とは、あまりお会いする機会は少ないのですが、お近くに来られた際は、是非、お気軽にお声かけください。

社会福祉士お勧めの図書

「私とは何か」 平野啓一郎 著

講談社現代新書

よくある自己啓発書等で見かける、ウソの自分・本当の自分という言葉の意味について解説。私たちが今まで感じてきた、うまく言葉にできない疑問を、「分人」という新しい概念を用いて、やさしく説いてくれる。例えば家の内外で全く違う性格、つまり「表裏のある人」とは「嘘つきではない」と。人は、付き合う相手によっていくつかの分人を持ち、社会の中でうまく生きていくために、知らぬ間に駆使しているテクニックなのだわかる。正直、一度読んだだけでは疑問も残るが、余計に再度手に取りたくなる。ここには心の味方が隠れている。対人援助の現場で燃え尽きないための知恵が満載。考え方一つで心が楽になる、心の処方箋として傍に置いておきたい一冊。(い)



特報!

西支部公開講座のお知らせ

「フェイスブックの使い方講座」を開催します!

西支部 三山 亮

街を歩いていると、スマホを覗いたり操作している歩行者や自転車をよく目にします。危ないなあ、と思いながら自分にはぶつからないでとつい考えてしまいます。彼ら・彼女らはおそらくツイッター、ライン、フェイスブック等のSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を使っているのでしょう。日本国内では約2,000万人の利用者（アカウント）があるフェイスブック。広島県社会福祉士会もフェイスブックページを持っています。ちなみに筆者の娘が通う大学でも公式ページで定期的に情報提供しています。

使っていない方にはイメージが伝わり難いかもしれませんが、ブログとツイッターやチャットを組み合わせたようなもの、と言えば少しはご理解いただけるでしょうか？日常的な挨拶がメインの人、自分で作った料理写真の投稿がメインの人（筆者のことです）、他人の投稿を見るのがもっぱらのフォロワーなど等、使い方はその人次第です。

投稿内容は一般公開され誰でも見られる場合と、「友達」になった人しか見られない場合、あるいは、非公開で特定の人だけでやりとりされ部外者にはそのグループの存在さえ分らない場合もあります。

広島県社会福祉士会でも会員の皆さまに広く使っていただき、社会福祉士会のページもホームページ等とリンクさせながら、会員同士の交流はもちろん、会員獲得や研修予告などにも活用できれば、と考えております。また、たとえば遠隔地で支部会等に参加が難しい方とかでも、テレビ会議の代替としても使えばこれも朗報かと思えます。また、支援のツールとしても活用されつつあり、各地の高齢者を対象としたフェイスブック講座も進められています。

こうしたフェイスブックを、まずは社会福祉士会の情報共有ツールとしてどう活用するか、この講座でお伝えできればと思います。



「フェイスブックの使い方講座」 ～西支部以外の方もどうぞご参加ください♪

日時： 11月15日（金）19：00～21：00 場所： 広島市中区地域福祉センター ボランティア研修室
 内容： フェイスブックの使い方（入門レベル）を学びます。タブレット端末、スマートフォン、パソコンなど、各自インターネットがつながる環境のツールをお持ちください。ドコモサービス中国株式会社のご協力をいただきます。

定員： 20人 参加費：無 料 主催： 公益社団法人 広島県社会福祉士会 西支部

西支部では、毎月第3金曜日に定例会を開催しています。また、研修だけでなく、定期的に納涼会・忘年会等の飲み会等のイベントも開催しています。情報・案内等をメールマガジンにて発信していますので、参加ご希望の方は、登録お待ちしております。

登録メールはこちら → 理事 河野 喬 kawano528@gmail.com

西支部長 幸本 尚子

研修&イベント情報

社会福祉士実習指導者フォローアップ研修

日時：平成25年10月26日（土）15：00～18：00

場所：広島YMCA国際文化センター（広島市中区八丁堀7-11）

内容：実習指導者講習会を修了された皆様を対象に、相談援助実習の指導について情報共有を行うことにより、指導の質・内容を向上させていくことを目的に、フォローアップ研修を開催します。実習指導者、教員間のネットワークづくりの場としてもご活用ください。

対象：社会福祉士実習指導者講習会修了者、社会福祉士養成施設・大学の教員

（※できれば、各事業所・養成校でお使いのマニュアル・様式等を持参ください。）

定員：50名

参加費①広島県社会福祉士会会員：1,000円 ②広島県医療ソーシャルワーカー協会会員、広島県精神保健福祉士協会会員、広島県介護福祉士会会員：1,000円 ③社会福祉士養成施設教員：1,000円

④非会員：2,000円

主催：公益社団法人 広島県社会福祉士会 次世代育成委員会

東日本大震災から2年半～放射能被害から今後の支援について考えよう

日時：平成25年11月10日（日）13：00～16：30（受付12：30～）

場所：広島市南区地域福祉センター（南区役所別館内） 大会議室

内容：東日本大震災による原発放射能被害の状況、医学的視点からの放射能被害の概要、被爆地広島のとどってきた復興と援護行政の実際を基調講演として学び、その後にシンポジウムを通じて今後の支援の在り方について考えます。

定員：100名

参加費：①会員 500円 ②非会員 1,000円（資料代として）

主催：公益社団法人 広島県社会福祉士会 **主管**：同 西支部

東支部情報交換会・勉強会

日時：平成25年12月7日（土）13：00～16：45

場所：福山すこやかセンター（福山市三吉町南二丁目11番22号）

内容：「相談援助技術を高める研修」「児童養護施設の取組みについて」

定員：35名 **参加費**：500円

主催：公益社団法人 広島県社会福祉士会 東支部

ぱあとなあフォローアップ研修

日時：平成25年12月8日（日）9：30～16：30

場所：広島県健康福祉センター（広島市南区皆実町1-6-29）

内容：後見活動に必要な実務、および「死後事務（相続人への財産の引き渡しを中心に）」について

対象者：ぱあとなあひろしま名簿登録者、2013年度成年後見人養成研修修了者

受講料：3,000円（ぱあとなあひろしま名簿登録者のみ）

申込：11月25日（月）までに、別途名簿登録者宛にお送りする研修案内の申込書にて事務局まで。

主催：権利擁護センターぱあとなあひろしま

燃やそう！社会福祉士魂！！ ～聴こう、語ろう、つながろう～

日時：平成26年1月18日（土）10：30～17：00（受付10：00～）

場所：中特会館 3階大会議室（広島市中区鞆町3-57）

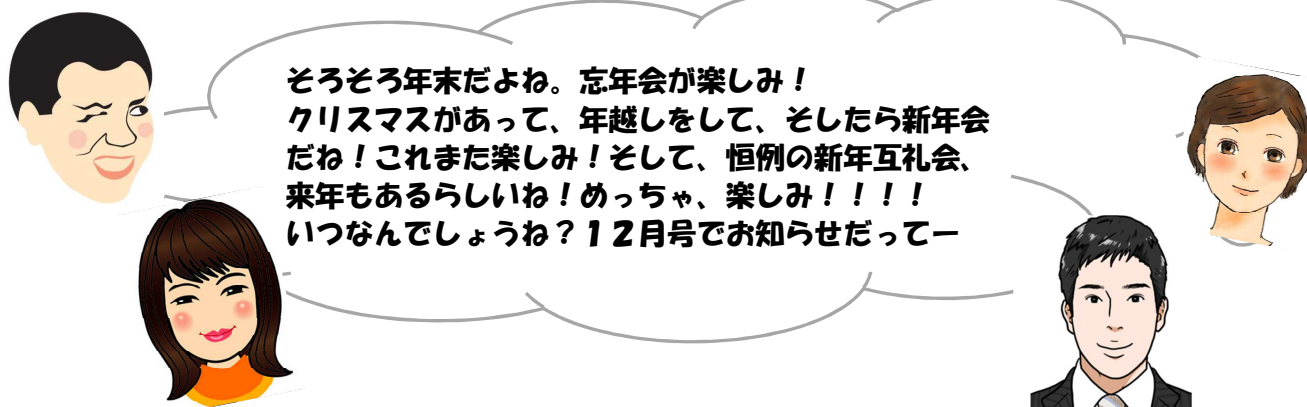
内容：独立型社会福祉士として先駆的に活躍されている川口正義さんをお招きし、お話を伺います。さらに、独立型社会福祉士として活動している仲間を中心に、独立型として活動するのはなぜか、どんなぶれない思いを持ち続けているのかなど、“社会福祉士魂”を語り合しましょう。

定員：100名

参加費：①会員 4,000円 ②非会員 6,000円 ③学生 3,000円（いずれも弁当代含む）

主催：公益社団法人 広島県社会福祉士会 独立型社会福祉士委員会

後援：一般社団法人 山口県社会福祉士会 独立型社会福祉士委員会



ホームレス支援委員会から寄付のお願い

自宅でできるボランティア ぜひご協力を！！

- 物品 タオル、衣類、新品下着、靴下、運動靴、など
※新品・Lサイズが嬉しいです。
 - 食糧 お米、缶詰、即席カップメン、レトルト食品、日持ちする野菜など。
その他物品については、事務局へご相談ください。
- ★8月・9月に頂いたもの。ご協力ありがとうございました！
米、タオル、石鹸、下着、食器類



編集後記

秋と言えば、『〇〇の秋』の〇〇の部分に色んな物が入ると思いますが、大のカープファンの私は、やはり『スポーツ』が入ります。今年の広島カープは球団史上初となるCS（クライマックス）シリーズ進出を決め、16年ぶりのAクラスに入った一方、前田智徳選手の引退発表もあり、嬉しい反面さみしさも感じている今日この頃です。

さて、新メンバーも加わり出発した広報委員会では、今年度SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用し、広島県社会福祉士会の活動について広く会員を始め会員以外の人たちへ啓発を行うと共に、会員間の交流の場も視野にフェイスブック開設準備中です。その第一歩として、フェイスブックについての研修会を今回予定しています。この機会を利用して、一緒にフェイスブックにチャレンジしましょう。（ふ）